

令和6年度

県政モニターアンケート調査結果

テーマ:「ふくおか教育月間」について

1.調査の目的

本県では、県民の皆さんに教育に対する関心と理解を一層深めていただくとともに、家庭、学校及び地域社会が連携して本県教育の充実と発展を図るため、毎年11月を「ふくおか教育月間」と定め、著名人による記念講演や児童生徒の発表などを行う記念イベントの開催や「ふくおか教育月間」のイメージキャラクター「ミライル」※を活用した啓発チラシの配布をしています。

皆さんの「ふくおか教育月間」の認知度等についてお聴かせいただき、今後の行政施策の参考とさせていただきます。

2.調査時期

令和6年8月7日～令和6年9月5日

※ イメージキャラクター「ミライル」とは

これからの社会にはばたく子どもたちの「翼」をイメージした妖精です。

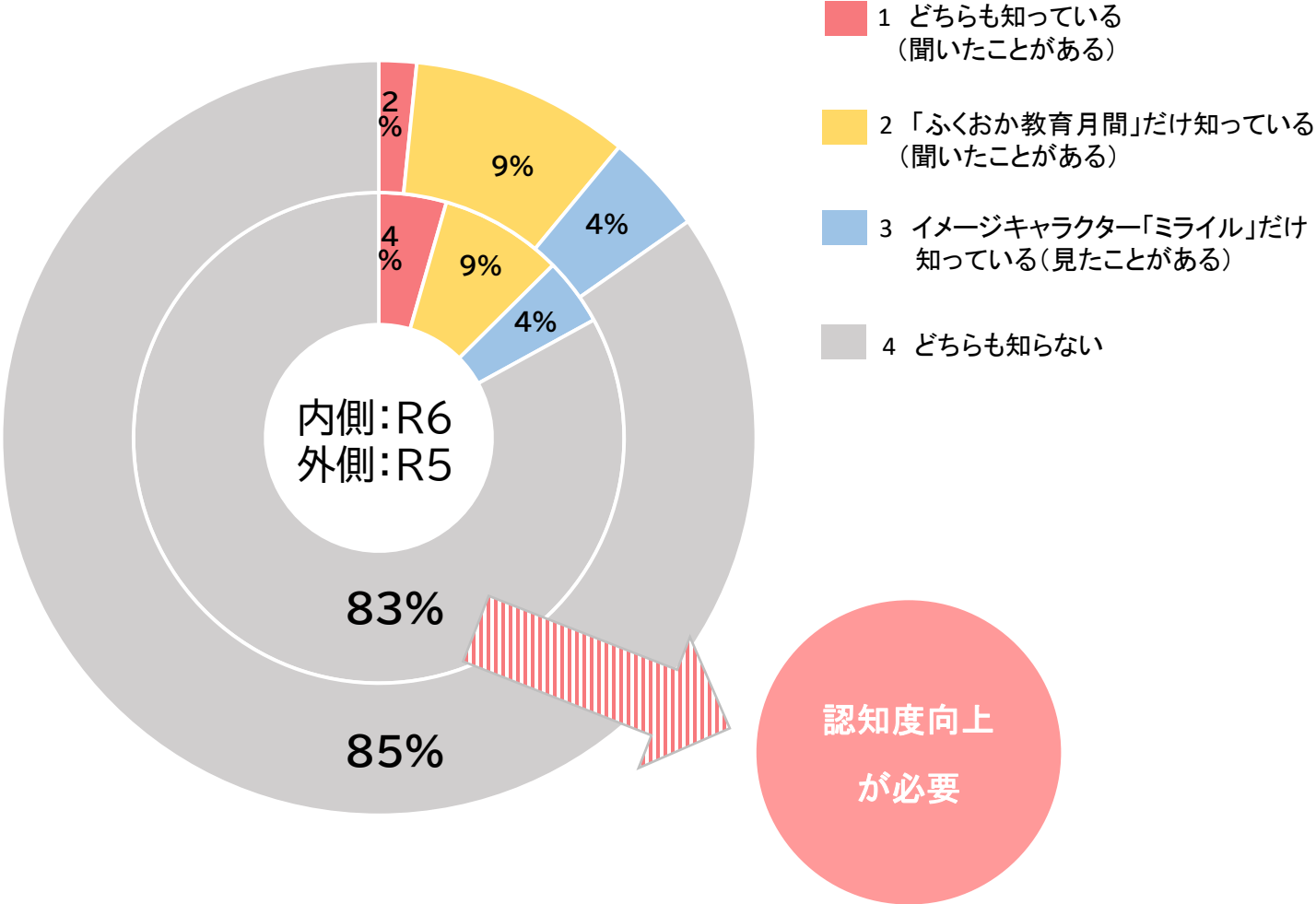
「ミライル」という名前には、笑顔（スマイル）が溢れる未来（ミライ）

に羽ばたいてほしいという願いが込められています。



問1 「ふくおか教育月間」やイメージキャラクター「ミライル」を知っていますか。

(n=382、選択は1つのみ)



選択肢	人数	割合
1 どちらも知っている (聞いたことがある)	17人	4%
2 「ふくおか教育月間」だけ知っている (聞いたことがある)	31人	9%
3 イメージキャラクター「ミライル」だけ知っている (見たことがある)	17人	4%
4 どちらも知らない	317人	83%

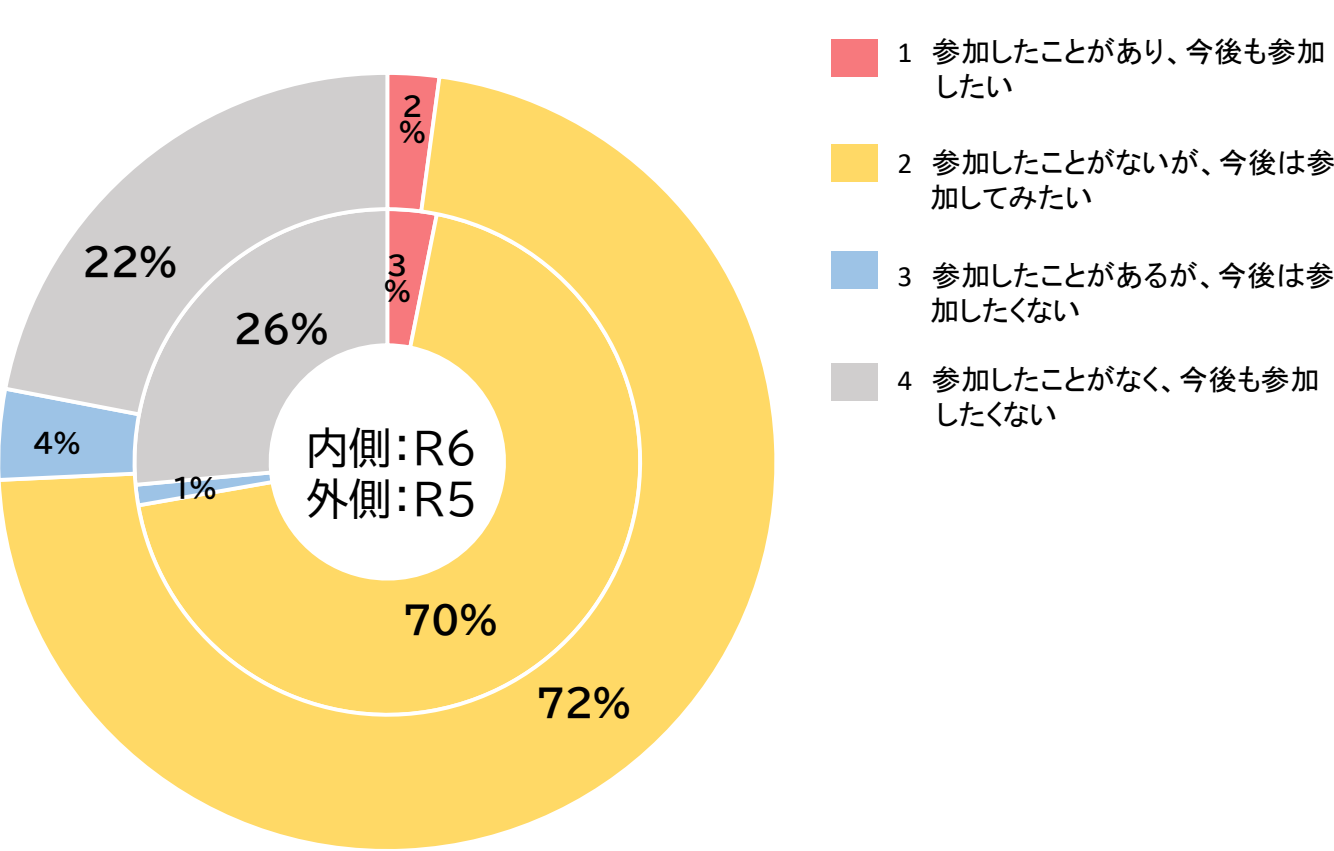
問2 どこで知りましたか。

(問1で[1][2][3]を選んだ場合、n=65、複数選択可)

福岡県のホームページ	30人
新聞広告	11人
WEB広告	9人
「ふくおか教育月間」記念行事のポスター・チラシ	19人
フリーペーパー	8人
学校からの案内	19人
家族・知人からの紹介	0人
その他	7人

問3 「ふくおか教育月間」記念イベントや、学校や地域における教育に関する行事等に参加したいと
思いますか。

(n=382、選択は1つのみ)



選択肢	人数	割合
1 参加したことがあり、今後も参加したい	12人	3%
2 参加したことがないが、今後は参加してみたい	264人	70%
3 参加したことがあるが、今後は参加したくない	5人	1%
4 参加したことがなく、今後も参加したくない	101人	26%

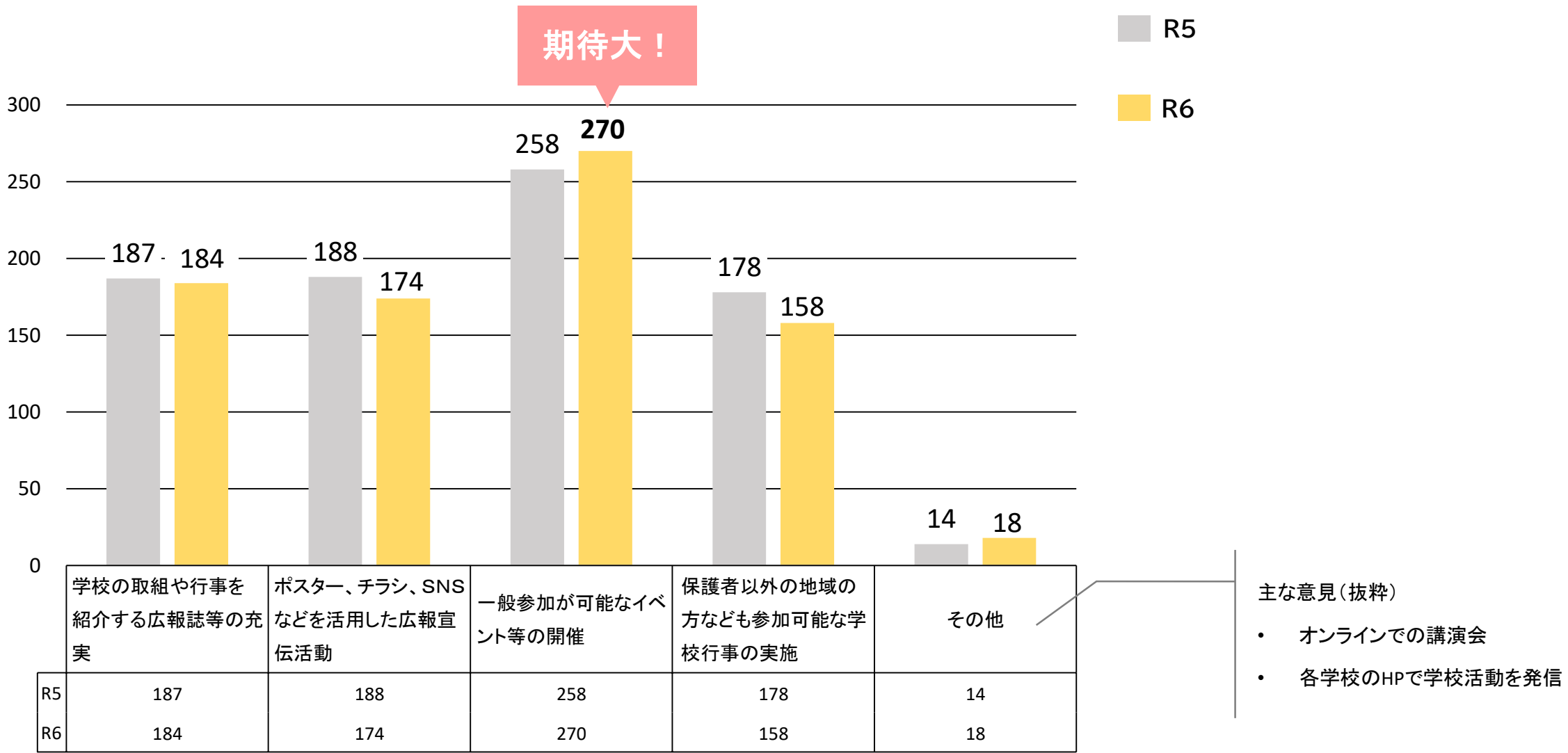
「ふくおか教育月間」記念イベント等に

約7割の方が

参加したい(してみたい)と回答しています

問4 教育に対する関心と理解を深めるために、県に対してどのような施策を期待しますか。
(または有効だと思いますか。)

(n=382、複数選択可)



問6 「ふくおか教育月間」について、これまでの設問以外に意見がありますか。

(n=111)

「ふくおか教育月間」やイベントについて

- ・ 幼稚園でも啓発活動をしてもらいたい。
- ・ 「ふくおか教育月間」の取組はとても良いと思うが、教育をする先生の働き方改革や、教諭の性犯罪や児童のいじめ問題など、問題は山積している。その部分にも切り込む必要があると思う。
- ・ ありきたりの講演会などではもともと関心のある人でなければ参加しにくいだろう。一般の参加者を増やすにはイベントの内容や広報を工夫する必要があるであろう。生徒の発表も同様で、教育関係者や同じ年齢層の子供がいる親御さんでもなければなかなか関心は高まらないだろう。
- ・ 子供たちの教育は本当に大事。各種の行事やイベントを通して、保護者以外の方々にも強い関心をもってもらい、子供の立場にたった教育改革を進めてほしいと願う。
- ・ 福岡教育月間の福岡県ホームページを拝見した。教育に対して自分がどのように関わりどんなことに貢献できるのか想像がつかないため、具体例を示していただけると有難い。
- ・ 子どもが社会人になってから、教育に対して鈍感になっていたので、今回を機に、色々理解したいと思う。ミライル、初めて知ったが、可愛いキャラクターである。
- ・ 是非、子供たちが興味をもち未来につながるような取組を行ってほしい。
- ・ 11月が教育月間であることを知らなかった。一般県民も気軽に参加できる取組があるとありがたい。
- ・ 教育関連は幅が広すぎるので、大タイトルを達成するために3回、5回と分けてアプローチする。つまり1年ごとにテーマや目的を決めて実施するのではなく、3年、5年と複数回にわたって完結するようなテーマを見つけて展開したい。

等

情報発信について

- ・ 宣伝をもっとしてほしい。
- ・ キャラクターに関しては全く存じ上げない。教育月間の取組は把握していた。参加はしたことがないが参加していきたいなと思っている。SNS等の媒体で広告やバナーがもっとあれば認知度は高まるのかな？と感じた。
- ・ この取組も、全く知らない。市町村の回覧板などでも回ってきていないし、ポスターも目にしたことはない。参加するか否かということの前に、まずは多くの県民に知ってもらう方法を、工夫する必要があるのでは？
- ・ 教育と聞くと難しいという印象があるので気楽に取りかかれる内容で広報してほしい。
- ・ 教育月間の概念がなく、まずはその月間があることを広めることが必要。(SNS、広報誌、ポスター、テレビでの告知等が必要かと。)

等

その他

- ・ 基礎学力の定着。
- ・ 地域のまちづくり記念館の講座に今年度初めて参加している。参加者も多く、盛況だったのでびっくりした。わが子が幼いときは、学校主催の講演会などに参加していたが、その機会もなくなった。地域住民も参加しやすい講演会やイベントがもっとあるといいなあ、若しくはその情報をたくさん発信してほしいと思う。
- ・ 教育はいま、大きく変わる時期に来ていると思う。変化を受け入れることはとても大変なことだと思うが、独自に変換をされている県もある。子供の将来を考えるなら、大幅な変革が必要だと思う。神奈川県横浜市は、子供に関しての整備がとても進んでいるところだと思う。ぜひ、参考にされて教育の変換を福岡県から進めてほしいと思う。
- ・ 私にも子供が居るが、どうしても私達の学生時代と比較してしまう。特に、先生達とお会いして感じるのだが、生徒に対して熱い気持ちを持って接している先生が少なくなってきている気がする。もちろん、先生方の変換も重々分かっているつもり。熱心に接して頂ける先生が一人でも多く増えることを期待している。
- ・ 教育を通じて社会的な常識や当たり前のことを当たり前に教えられる教育をしてほしい。
- ・ 家庭、学校、地域社会の円滑なコミュニケーションが教育に対する理解に繋がると思う。いろんな世代の意見をすり合わせる事も必要さを感じる。
- ・ 不登校児童の教育についても抜本的な改革を期待する。(フリースクールやオンラインスクールに対する補助金や、オンライン学習の取組など)
- ・ 地域と共にある学校作りをしてもらいたい。

等